

2019年12月19日更新

2019年12月12日更新

2019年4月4日

関西学院大学

## 2021年度入学者選抜について

### ～ひとりひとりの個性と可能性を見つめる入試へ～

関西学院の使命は、キリスト教主義教育によって「Mastery for Service」を体現する世界市民を育み、世に輩出することにあります。「世界市民」とは、他者と対話し共感する能力を身に付け、よりよい世界の創造に向けて責任を担う人々のことです。国際貢献を含めた公共分野とビジネス分野それぞれで活躍する卒業生を数多く輩出するとともに、世界的な課題に挑み解決へと導く、「強さと品位」を持ったグローバルリーダーを生み出すことが関西学院の理想です。

なかでも関西学院大学の教育目標は、社会や世界に貢献して「真に豊かな人生」を送るための基盤を創ることです。グローバル化、少子高齢化、産業構造の転換、AIの進展など、先を見通すことが難しい時代において、人生の目標を抱き、高い知識・技能とともに、自らを律する「強さ」と、誠実さ・思いやりなど人格としての「品位」を兼ね備え、隣人・社会・世界に貢献する「真に豊かな人生」を送ることができる力を身につけます。

本学は、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の特徴なく共通に身に付けるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学の教育に通底するものとして位置づけています。

#### <Kwansei コンピテンシー>

(知識)	(資質)	(能力)
●幅広い知識・深い専門性	●困難を乗り越える粘り強さ	●論理的な思考力
●多様性への理解	●よりよい社会に変革する情熱	●主体的に行動する力
	●誠実さと品位	●生涯にわたって学び続ける力
		●豊かな人間関係を築く力
		●対立する価値を調整する力

だからこそ、本学は2021年度入試より総合選抜入学試験を導入するなど、入学者選抜制度を改革し、学力の三要素を多面的・総合的に評価する「ひとりひとりの個性と可能性を見つめる入試」に転換する取り組みを行なってまいります。

### 2021年度入試改革基本方針

- 1 一般選抜入学試験をはじめ、全ての入学試験で学力三要素を評価する。
- 2 **一部**の入学試験で英語4技能を評価する。(2019年12月12日更新)
- 3 一般入学試験全日程の国語において、表現力を問う記述式問題を実施する。

本学は、「2021年度入試改革基本方針」にしたがい、次のとおり、2021年度入学者選抜の制度を構築いたしましたので公表いたします。なお、入試科目等は決まり次第、順次公表してまいります。

# 一般選抜入学試験

## 1. 一般入学試験の変更点

2021 年度入試においても従来通り、「全学日程」、「学部個別日程」、「関学独自方式日程」の3つの日程により一般入学試験を実施します。

※関学独自方式日程の「大学入試センター試験併用型」は 2021 年度入学者選抜から、「大学入学共通テスト併用型」に名称変更します。

### 1) 英語 4 技能の評価

**導入見送り (2019 年 12 月 12 日更新) ※大学入試英語成績提供システム導入見送りに伴う**

### 2) 「学びに向かう力」(主体性等) の評価

関西学院大学においては、自らの人生の目標を抱き、高い知識・技能とともに、自らを律する「強さ」と、誠実さ・思いやりなど人格としての「品位」を兼ね備え、隣人・社会・世界に貢献する「真に豊かな人生」を送ることができる力を身につける素養をもつ生徒を選抜するために、2021 年度入試より「学びに向かう力」を含めた学力の三要素を評価します。

これまで通り、一般入学試験における本学の学力検査において、関西学院大学で学ぶために必要な一定の「知識」「技能」、「思考力」「判断力」「表現力」を有する生徒を評価することを基本とし、さらに「学びに向かう力」(主体性等) として評価できる極めて優秀な成果を有する生徒について加点的に評価を行います。

あくまでも、学力検査による評価を基本として重視します。評価の対象となる項目を有していなくても、合否において不利になりません。

#### <実施方法>

学力の三要素を次の方法で評価します。

##### ① 基本的な評価

「本学が課す筆記試験総合点」を用いて合否判定を行います。

##### ② 本学指定項目を有する者の評価

本学の指定項目に関する経験や成果を有する志願者は、その評価の得点を、一般入学試験の学力検査の得点に加えることができます。

「本学が課す筆記試験の総合点」+「学びに向かう力」(主体性等) の評価点」と、「本学が課す筆記試験総合点」のいずれか高得点を用いて合否判定を行います。

なお、本学が指定する項目や評価点、基準等については今後検討し、公表します。

#### <実施例>

##### ① 基本的な評価

本学が課す筆記試験の総合点「500 点満点」のみで評価する。

##### ② 本学指定項目を有する者の評価

A. 本学が課す筆記試験の総合点「500 点満点」と、B. 本学が課す筆記試験の総合点「450 点」(500 点から 450 点に圧縮) と本学指定項目の評価を得点化したもの「50 点」を合算

した得点「500点満点」の、いずれか高得点（AとBのいずれか高得点）を評価する。

1. 本学が課す筆記試験「500点満点」の得点 ……A

2. 合計点(ア+イ) ……B

本学が課す筆記試験の得点「450点」\*1 ……(ア)

\*1. 筆記試験（500点満点）の得点を450点に圧縮したもの。

本学指定項目の評価「50点」 ……(イ)

### 3) 「国語」における記述式の実施

関西学院大学では、隣人・社会・世界に貢献する「真に豊かな人生」を送ることができる力を身につける素養としての「表現力」を評価するため、「一般入学試験」において、これまで学部個別日程における「国語」において一部実施していた記述式問題を、全学日程において、一部導入します。

## 2. 大学入学共通テストを利用する入学試験の変更点

### 1) 英語4技能の評価

**導入見送り(2019年12月12日更新) ※大学入試英語成績提供システム導入見送りに伴う**

### 2) 記述式問題の活用

**導入見送り(2019年12月19日更新) ※大学入学共通テストの記述式導入見送りに伴う**

### 3) 「学びに向かう力」(主体性等)の評価

一般入学試験と同様に大学入学共通テスト利用入学試験においても、2021年度入試より「学びに向かう力」を含めた学力の三要素を評価します。

大学入学共通テストにおける学力検査において、関西学院大学で学ぶために必要な一定の「知識」「技能」「思考力」「判断力」「表現力」を有する生徒を評価することを基本とし、さらに「学びに向かう力」(主体性等)として評価できる極めて優秀な成果を有する生徒について加点的に評価を行います。

あくまでも、学力検査による評価を基本として重視します。評価の対象となる項目を有していなくても、合否において不利になりません。

#### <実施方法>

「学びに向かう力」(主体性等)は次の方法で評価します。

#### ① 基本的な評価

「大学入学共通テストの総合点」を用いて合否判定を行います。

#### ② 本学指定項目を有する者の評価

本学の指定項目に関する経験や成果を有する志願者は、その評価の得点を、大学入学共通テストの得点に加えることができます。

「大学入学共通テストの総合点」+「学びに向かう力」(主体性等)の評価点と、「大学入学共通テストの総合点」のいずれか高得点を用いて合否判定を行います。

なお、本学が指定する項目や評価点、基準等については今後検討し公表します。

<実施例>

① 基本的な評価

大学入学共通テストの総合点「900点満点」のみで評価する。

② 本学指定項目を有する者の評価

A.大学入学共通テストの総合点「900点満点」と、B.大学入学共通テストの総合点「700点」（900点から700点に圧縮）と本学指定項目の評価を得点化したもの「200点」を合算した得点「900点満点」の、いずれか高得点（AとBのいずれか高得点）を評価する。

1. 大学入学共通テスト「900点満点」の得点 ……………A

2. 合計点(ア+イ)……………B

大学入学共通テストの得点「700点」\*1……………(ア)

\*1. 筆記試験（900点満点）の得点を700点に圧縮したもの。

本学指定項目の評価「200点」……………(イ)

## 総合選抜入学試験

関西学院大学では、世界的な課題に挑み解決へと導く「強さと品位」を持ったグローバルリーダーとなることのできる素養をもつ生徒を受け入れるために 2021 年度入試より総合選抜入学試験を AO 入学試験に代えて全学で導入します。

総合選抜入学試験では、様々な選抜方法を組み合わせる事により多面的・多元的に学力の三要素の評価を行います。

特に高等学校の学びにおける【主体的な学び】、【対話的な学び】、【深い学び】の経験や成果に着目し、各学部の教育を受けるにふさわしい能力並びに学びに向かう力を総合的に評価する入試制度として実施します。

なお、各学部が独自に求める特色ある能力や経験を有する生徒を選抜する特別選抜入学試験を、別途実施します。詳細は決定次第発表致します。

### 出願資格

- 1) 高等学校あるいは中等教育学校卒業（卒業見込み）、通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（修了見込み）。または、学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められるもの。
- 2) 文系学部については、英語検定試験スコア CEFR<sup>※</sup>B1 レベル以上、理系学部については CEFR A2 レベル以上を有する者。

<sup>※</sup>CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment : 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠)

- 3) 他大学との併願が可能。

### 評価のガイドラインと評価方法

以下の評価のガイドラインに従って評価を行います。提出書類、面接、論文、口頭試問、集団討議・グループ学習、プレゼンテーション等を活用し、多面的・多元的な評価を行います。

内容は詳細が決まり次第公表する予定です。

#### <評価のガイドライン>

- ① 【主体的に学ぶ力】学ぶことに興味や関心を持っているか。自らの人生の目標を抱き、その目標と関連付けながら、自らの思考のプロセス等を客観的に捉え、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」ができるか。
- ② 【対話的に学ぶ力】子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」ができるか。
- ③ 【深く学ぶ力・探究する力】各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」ができるか。
- ④ 【人間性】自らを律する「強さ」、誠実さ・優しさや思いやりなど人格としての「品位」、隣人・社会・世界に貢献する多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性。

以上